



色彩館に咲く

クロチク

Phyllostachys nigra (Lodd.) Munro var. *nigra*

イネ科マダケ属

原産地：中国



渋い色が魅力的

中国浙江、江蘇、湖北省の原産で高さ2～4mになり、本州、四国、九州北部に多いハチクの変種で、ハチクよりは小さく、稈(カン)という中が空洞になった茎の表面には黒褐色の斑が全面に広がる大変美しい竹で、観賞用として大変人気があります。漢名では「紫竹(シチク)」ともいわれます。

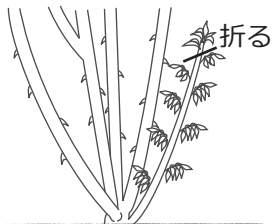
クロチクというだけあって黒い竹ですが、タケノコが出てきたばかりで稈が柔らかい頃は白っぽい緑色で、初めて見たときは先祖がえりでもしてしまったのかとビックリして慌てて図鑑を開いた記憶があります。この若い白っぽい稈は夏から黒くなり始めて、おおよそ1年で本種独特の黒い稈面になります。これはハチクの稈が突然変異で黒くなったものだそうです。葉は緑色で平たく先端は尖り、付け根に向かって太くなる形をしています。まれに花が咲くことがあり、花穂は細い毛を持ち、房になります。花が終わった後その稈は枯れてしまうそうです。

日当たりのいい乾燥地では鮮やかな黒色になり、これは伐採した後も変わらないので、観賞用として庭に植えられる他にも、建築用や工芸用など装飾用の材料としても需要があります。主な産地としては、高知県中土佐町や和歌山県日高町などが有名です。タケノコは食べることもできるようですよ。

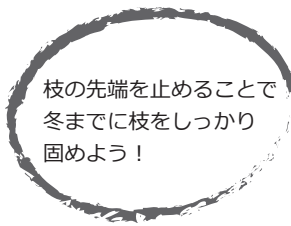
耐寒性は道南辺りであればなんとか越冬できると思いますが、そこまで強くありません。

生育は大変旺盛なので、花壇などで使うときは地中に間仕切りをしなければなりません。黒い稈も年数と共に色褪せてくるので、古い稈を間引いて適度に新しい緑色の稈を残すなど一斉に更新しないでバラバラに稈の更新を図っていくと、クロチクらしさを維持していけます。

色彩館では大温室の一面に植栽されています。ヤツデやオタフクナンテンなどと合わせて外国人が作るジャパニーズガーデン風になっていて面白いですよ。是非ご覧ください。



脇枝が伸びる前40~50cmの高さで先端を指で折る。



早くから脇枝が伸びてくる品種は、伸びの良い下の脇枝2本を残して上の枝を切る。



待望の一番花をお楽しみのことと思います。この時期は地際から勢いのある新しい枝(シュート)が沢山出てきています。その枝は翌年以降数年の開花枝となるので、確実に越冬できるように「シュートの処理」を行いましょう。木立性の大輪系(HT)や中輪房咲きの系統(FI)などはこの処置が必要です。原種系や修景バラのような自然形の茂みになる様な系統はシュートを止める必要はありません。つるバラはシュートを支柱などに真っ直ぐに立てて誘引してどんどん伸ばし、7月の末頃に先端を止めましよう。



今月の便り

バラ園



花がら摘み、テストガーデンの整備、施肥作業、マルチング作業と忙しく毎日が過ぎていきます。気温の上昇と共に病気の発生が心配。こまめなチェックが欠かせません。

色彩館

大温室の一年草花壇が涼しげな青花に入れ替わり、スライドの窓を全開にした温室は意外に涼しくホッとする季節になってきました。

花と緑の供給センター

夏花の出荷が終わったと思ったら、今度は秋植えのパンジー・ビオラの播種が始まります。少し落ち着いた際にバラの花がら摘みの応援にも入ります。



さわさわ。

7月になり、いよいよ夏本番です。山や森の木々はぐんぐんと葉を伸ばし、鮮やかな緑を見せてくれます。

その中を歩くのはとても気持ちがいいですね。

木陰が涼しいのは、葉や枝が日射しを防いでくれるだけではありません。主に葉で行われる「蒸散」という水分を体から放出する働きによっても、周囲の温度を下げています。その作用によって、体感温度がググッと下がり涼しいのです。

吹き抜ける風に揺れる葉の音、木々の香りに木陰で飲む麦茶。五感をフルに使って、木陰を満喫してはいかがでしょうか。 Miz

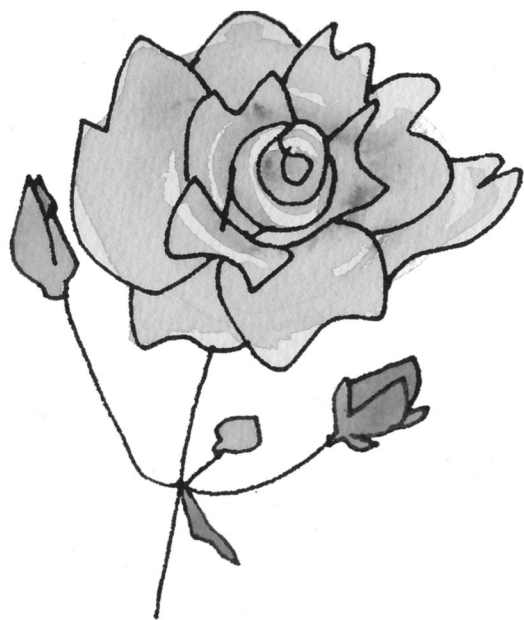
よしなしごと

ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗
(イラストレーター)



Morden Blush

白色に淡いピンク色がかかる花で、小ぶりな中輪の整形花です。季節によりアイボリー色から薄いピンク色となる、とても花付きの良い品種で、細くしなやかな枝先に4～5輪ずつ房になって咲きます。成長がゆっくりで、樹高は50～150cm、幅1メートルくらいと比較的コンパクトにまとまり、花保ちがよく、葉色が優しいのも魅力的です。

モーデンブラッシュはカナダのパークランドシリーズのバラで、カナダのマニトバ州のモーデン育苗所で開発され、1988年より苗が市場に出回るようになりました。また交配親はRSM J3 × RSM E0となっていて、どうやら命名・販売に至らなかったものをかけあわせて作出されたものらしいのですが、調べてみると交配は (Prairie Princess x Morden Amorette) x [((R.

第十六回

シュラブローズ

モーデン ブラッシュ

Morden Blush

作出国：カナダ

作出者：Marshall

作出年：1976年

ハーディネスゾーン：Z2

繰り返し咲き性

交配：RSM J3 × RSM E0

arkansanax Assiniboine) x White Bouquet) x Prairie Princess] であるという情報もありました。真偽のほどはどうか。モーデンブラッシュの耐寒性については、カナダのアルバータ州の4日連続-45℃の日々を含む厳冬を乗り切った、という記録もあるほど強いですが、耐暑性はあまりないようで、仙台での植栽例をきいてみてもあまり大きくなっていないようです。また、耐病性については植えて一年目は多少黒星病が出たりするものの、3年程経つと安定して病気にかかりにくくなります。北海道の気候に合う、気長にじっくりと育てたいとてもいい品種です。当園で栽培しているモーデンブラッシュは、やはり病気も少なくもりもりと育てています。花も今が見頃となっていますので是非見に来てください。

いわみざわ公園 バラ祭り開催中！！



6月27日(土)~7月5日(日)

場所：いわみざわ公園バラ園 開園時間が延長になりました！18：00閉門

バラが満開の季節到来~ということで、バラ祭りを開催します！

期間中はイベント盛りだくさん。*予定は変更になる場合があります。

- ・バラ園スタッフによるローズツアー(土日2回・平日1回)
- ・色彩館入館でバラのポップリプレゼント(数量限定)
- ・フードコート ・グリーンマーケット . . . などなど

藤川志朗「バラのイラスト展2015」 好評開催中！

6月20日(土)~7月12日(日) 場所：バラ園旧緑のセンター 9:00~17:00

7月の市民園芸講座のご案内



- 7月5日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント
有料：1000円 定員：30名 講師：富井 加代子さん フラワーデザイナー
- 7月12日(日) 10:00~12:00 バラのスケッチを楽しもう
無料 定員：10名 講師：藤川 志朗さん イラストレーター
- 7月18日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑤バラ園見学会
無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズgrower
- 7月19日(日) 13:00~15:00 盆栽作りの楽しさ
無料 定員：40名 講師：吉川 茂さん 岩見沢樹石会
- 7月5・12・26日(日) 10:00~12:00 ローズツアー(バラ園散策)
無料 定員：40名 講師：バラ園スタッフ
- 8月2日(日) 13:00~15:00 植物のからだ大解剖！親子でおもしろ実験講座
有料：300円 定員：20名 講師：森 志郎さん 酪農学園大学

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園バラ園指定管理者)
お問合わせ いわみざわ公園バラ園 室内公園「色彩館」 0126-25-6111